

# 実現した構造改革特区の例(第19回認定分)

## 医師臨床研修推進特区 ルモイシ 【北海道留萌市】



留萌市では、医師確保による地域医療の充実を最重要課題として、市立病院における臨床研修の受入等に取り組んでいる。

しかし、近年、医師不足が深刻化し、大学病院からの医師派遣に頼らざるを得ない状況が続いているため、地方公務員法の特例措置により、臨床研修医の任用期間を延長し、2箇年を通じた臨床研修を行う。

これにより、全人的な医療提供ができる医師の養成を図るとともに、市立病院における医師確保を推進し、地域医療の水準向上を図る。

### <地方公務員に係る臨時的任用事業>

○臨床研修医師 3人（平成20年度） → 8人（平成27年度）

## 天草宝島ワイン・リキュール特区 アマクサン 【熊本県天草市】

天草市の地域資源である豊富な果実や農産物を用いたワイン・リキュールを製造し、農産物に付加価値を高めた農業の振興を図る。

また、各地域の資源を生かした特産品開発などの活動も活発化してきており、コミュニティビジネス起業化の可能性も高まる。

さらに、製造されたワイン・リキュールを本市に訪れる観光客等に提供することで、新たな地域資源（宝）として発信し、観光地としてのイメージが向上するなど、産業間や地域間の連携により、相乗効果を生み出しながら、市全域での地域活性化を図る。

### <特産酒類の製造事業>

	(平成19年度)	(平成22年度)	(平成26年度)
○特産酒類製造所件数	—	2件	4件
○農村都市共生・交流による交流人口	1,000人	2,000人	4,000人
○観光入込客数（宿泊者数）	299,000人	450,000人	500,000人



# 実現した地域再生計画の例（第12回認定分）

農林水産関係補助対象施設の有効活用を活用した計画 = 2件 新規のみ

## ～すてきな田舎～を次世代に残すために自然資源を最大限に活かす地域再生 【長野県朝日村】 アサヒムラ

朝日村は、高齢化による農林業の担い手不足により耕作放棄地の増加や山林の荒廃が進行している上、人口減少により基幹産業である農業が衰退しつつある。このため、他施設に事業の切り替えが済んだ農業関連施設を農産物加工施設やバイオ燃料研究施設等に転用する。これにより、味噌の加工やこうれんじ柿を使った特産品づくりを推進すること等により、地域の担い手づくりと雇用の拡大を図る。また、現在、行われている農業体験学習ツアーに、食品加工体験等を組み込んだツアーを実施することにより交流人口の拡大を図る。

### <農林水産関係補助対象施設の有効活用>

【目標】	(平成19年度)	→	(平成24年度)
○味噌の販売	0円	→	1,000千円
○こうれんじ柿を利用したドレッシング等の販売	1,500千円	→	7,000千円
○こうれんじ柿を利用した新商品の開発	2品	→	5品
○雇用の拡大	9人	→	30人
○体験学習ツアー等による交流人口の拡大	30人	→	120人



港整備交付金を活用した計画 = 4件 新規のみ

## 急潮今治・上島「うみのまち」再生計画～港の連携・皆との交流～ 【愛媛県、今治市、上島町】 エヒメケン イマバリシ カミジマチョウ

今年度、安芸灘架橋の開通により海上航路との連携により瀬戸内海に新たな交通網が形成された。しかし、港施設の老朽化あるいは施設機能不足により十分なアクセス性が確保されておらず、島嶼部に残る豊かな観光資源が活用できない。そのため、港施設の補修・改修により、だれでも安心して利用できる環境を提供し、延いては港を介した広域ネットワークの構築に資することを目的とする。特に当海域には高級魚と言われる水産物が豊富にあり市場拡大・鮮度の保持による商品価値の向上を図り観光客の誘致、また、地場産業の活性化を目指す。

### <港整備交付金>

#### 【目標】

- 水産品の消費増加による地元産業の安定…飲食店等での魚消費者数の増加  
30,400人（平成20年度） → 31,920人（平成26年度）
- 交流人口の増加…港の連携による観光入込客数の増加  
85,100人（平成20年度） → 89,355人（平成26年度）



# 中心市街地活性化基本計画

## 酒田市中心市街地活性化基本計画(計画期間:21年3月～26年3月)

目標	指標	現況値	目標値(H25)
中心商店街の活性化	歩行者・自転車通行量(平日)	2,276人(H20推計)	3,100人
街なか観光の推進	観光施設入込数(年間)	1,549千人(H19)	1,600千人
街なか居住の促進	中心市街地定住人口	2,954人(H19)	2,960人

### 中町ふれあいサロン整備事業

旧北都銀行の跡地に、音楽などのイベントの他、シネサロン・カフェ・ビヤホールなどの飲食機能を有する交流ホールを整備する。



事業イメージ図

### 海鮮モール整備事業

既存の「さかた海鮮市場」とモール化した鮮魚を中心としたテナントミックス店舗を整備し、観光客等の利便性を高め、にぎわいを創出する。



事業イメージ図

中心市街地の区域:約111ha



### 酒田駅前地区優良建築物等整備事業等

酒田駅前の大型店跡地に駅前広場やバスターミナルを整備するとともに、ホテル、商業施設等を整備し、商業・交通結節点とする。



事業イメージ図

### 酒田料亭横丁整備事業

中心商業地の空き地に、観光客や市民が酒田の料亭の味を手軽に楽しめる屋台村を整備する。



事業イメージ図

### 新産業会館整備事業

老朽化した産業会館を改築し、商工会議所・コンベンション機能やレストラン等を有する交流施設として整備する。



事業イメージ図

駅前に商業・交通の核施設を整備し中心商店街へ人の流れをつくとともに、歴史的な観光施設に加えて港地区や中央商店街に飲食を中心とした観光施設を整備することで、市民や観光客が回遊する中心市街地を形成する。

# 中心市街地活性化基本計画

## 静岡市(清水地区)中心市街地活性化基本計画(計画期間:21年3月~26年3月)

目標	指標	現況値(H19)	目標値(H25)
暮らしたくなる みなとまち	居住人口	6,715人/年	7,484人/年
にぎわいあふれる みなとまち	観光交流客数 (含・施設利用者数)	728万人/年	800万人/年
魅力がつながる みなとまち	休日の 歩行者通行量	8,394人/日	8,400人/日

### JR清水駅周辺再開発事業・区画整理事業

区画整理によりバスターミナルや公園などのインフラを整備。再開発事業により核となる大型商業施設、商業施設等と一体となった分譲住宅(計171戸)を立地。



駅周辺区画整理イメージ

### 市文化施設の駅前移設事業

多様な舞台芸術に対応できる多目的施設。周辺の既存文化施設とも、共通チケット等で連携。



文化施設イメージ

### 魚市場交流施設整備事業

魚市場の改築、観光集客施設「河岸の市」(年間100万人集客)の施設拡充による機能向上。



河岸の市

### 「ちびまる子ちゃん」のまちづくり

ちびまる子ちゃん関連施設を核とし、商店街や文化施設等が、ガイドマップ、スタンプラリー、キャラクターバス、ブロンズ像設置などで連携。

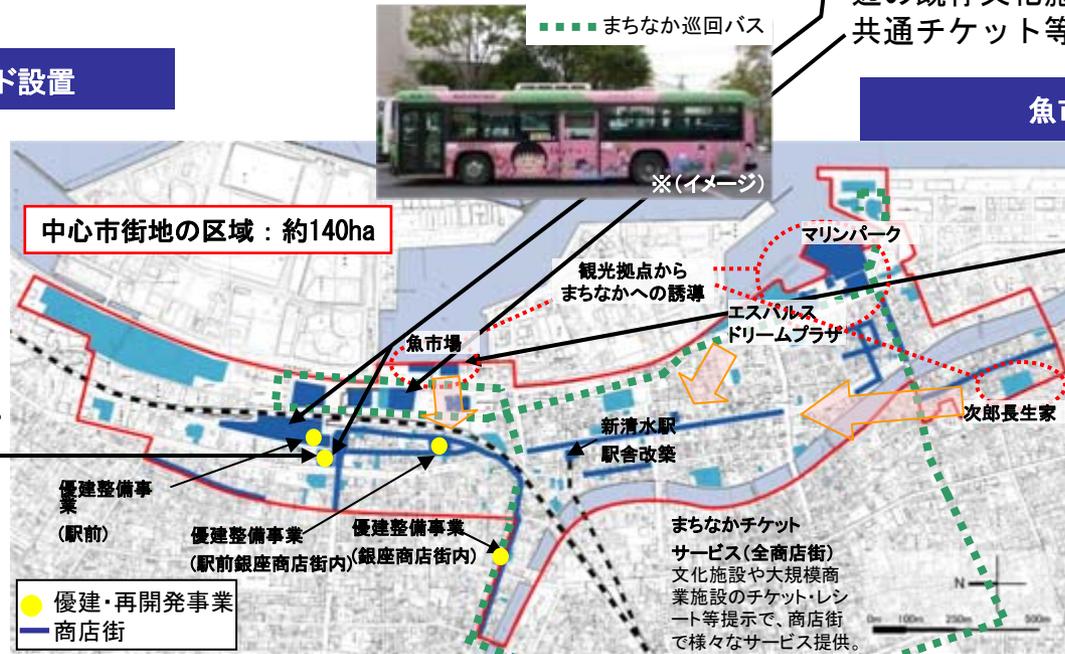
### (仮称)こどもクリエイティブブランド設置

さくらももこ氏協力の下創設。同氏の作品館、漫画・作曲・CG等のクリエイター活動体験ゾーン、クリエイター版職業体験機能等を備え、青少年の創作活動支援・人材育成。



清水駅西第一地区再開発ビルに新設。

面積は、1,800㎡(900㎡×2フロア)。



大型商業施設立地、商店街活性化、機能的な都市空間の創出等による暮らしたくなるまちを目指すとともに、文化・観光施設の整備、港を活かしたイベント開催等によるにぎわいあふれるまち、地域資源(ちびまる子ちゃん等)を活用した機能連携、交通モードの充実による魅力がつながるまちを目指す。

# 中心市街地活性化基本計画

## 守山市中心市街地活性化基本計画(計画期間:21年3月~26年3月)

目標	指標	現況値(H19)	目標値(H25)
幅広い世代が共生できるまち	福祉・文化交流施設の利用者数	126,082人/年	163,000人/年
住民参加により地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち	歩行者・自転車通行量(平日)	6,002人/日	6,200人/日

### 東門院門前にぎわいづくり

中山道沿いの東門院を中心に、その隣接する町家を活用し、地域住民が主体となってアート市の開催、カフェ、舞台・納涼床を設置。



### 商店街の活性化事業

空き店舗を活用した文化教室等によりコミュニティを形成。また、銀座夜市や夏まつり等のイベントを定期的で開催。

### 「地域活性化施設」チャレンジショップ

中山道に面し、蔵を残す大きな商家を歴史文化拠点として整備し、地元食材の物販店や飲食店を入店させ賑わいの拠点を創出。



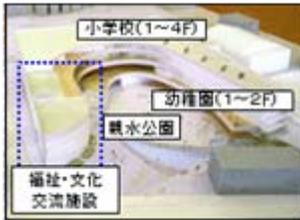
### 水辺遊歩道ネットワークの形成

まちなかの小河川に住民と協働のもとゲンジボタルが自生できるような護岸を整備し、遊歩道や休憩所を設置。



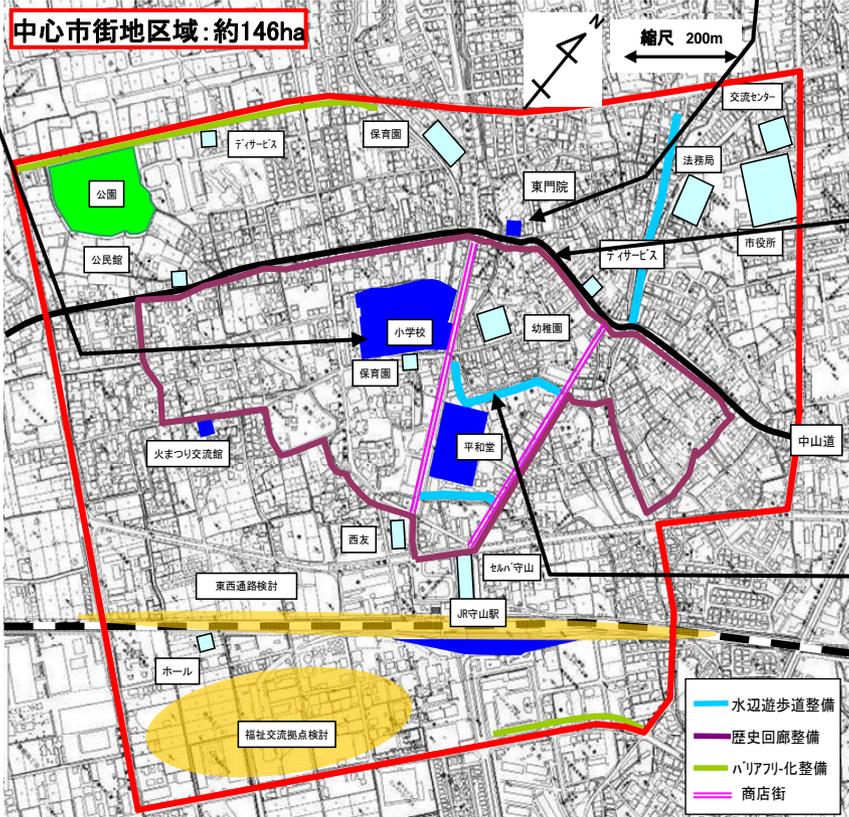
### 教育施設統合化、福祉・文化交流施設整備

小学校の改築に合わせ、幼稚園・小学校の連携強化を図るため施設を合築し、園児と児童が交流できるようなカリキュラムを構築することで、教育機能を充実。また、教育施設に介護予防施設・子育て支援施設・ほたるの情報発信施設・障害者交流促進施設・カフェレストランなどの様々な利用者が交流できる施設を併設。



### 平和堂守山店建替

郊外大型店の出店が相次ぐ中、魅力ある店舗に改築し地域住民の利便性を高めるとともに、加チャ施設などを取り込み「コミュニティセンター」化を図る。



- 水辺遊歩道整備
- 歴史回廊整備
- バリアフリー化整備
- 商店街

小学校、幼稚園、交流施設の合築等により、幅広い世代が共生できる街を目指すとともに、中山道の町家等の地域資源を住民参加により再生し、地域住民が親しめる街を目指す。